

## 成体イモリの肢再生メカニズムの再検証

安田 佳世 (筑波大学 生物学類) 指導教員：千葉 親文 (筑波大学 生命環境系)

### 【背景と目的】

両生類有尾目に属するイモリ科は卓越した再生能力を持ち、再生のモデルとして研究が進められている。肢や尾、眼の水晶体や網膜などのあらゆる組織を一生のうちに何度でも再生させることができる。

私はその中で、肢再生の形態形成メカニズムにおいて、どこでどんな因子がはたらくことにより複雑な3次元構造を形成しているのかについて興味を持った。過去の研究により肢再生で形態形成を司っているのは皮膚中の線維芽細胞であるとされてきた。今回は、皮膚中のどの部分がどんな因子を用いて形態形成に関わっているか、成体のアカハライモリ (*Cynops pyrrhogaster*) を用いて再検証した。

### 【方法と結果】

発表会場で報告させていただきます。